

# 平成 30 年度 八代市立博物館未来の森ミュージアム 活動記録

## ■特別展覧会活動（特別展示室・第2常設展示室）

(1) 春季特別展覧会「能面乱舞—八代城主松井家伝来能楽コレクション—」

会 期 平成 30 年 4 月 20 日（金）～6 月 3 日（日）開館日数 39 日間

入館者数 3,344 名

(2) 夏季特別展覧会「八代の禅宗寺院とその寺宝」

会 期 平成 30 年 7 月 13 日（金）～8 月 26 日（日）開館日数 39 日間

入館者数 3,295 名

(3) 秋季特別展覧会「ザ・家老 松井康之と興長 ～細川家を支え続けた「忠義」～」

会 期 平成 30 年 10 月 19 日（金）～11 月 25 日（日）開館日数 33 日間

入館者数 3,689 名



## ■常設展示活動（第1常設展示室・第2常設展示室）

### 第1常設展示室（各コーナーを2～5期に分け展示替え）

考古（古墳時代の八代/古代の八代-文字の世界-/弥生時代の八代/瓦からわかる麦島城・八代城）、古文書を読む（釈迦院の古文書/悲劇の武将 尾藤金左衛門/学芸員実習展示/富岡家文書と河俣塗）、信仰のかたち（盛光寺の阿弥陀如来/八代の仏像・仏具）、金工（お花見しましょー桜さまさま/肥後拵の魅力分析/肥後鐔鑑賞入門）、八代焼（象嵌の技法/文房具と香炉/茶の器）、民俗（妙見宮の絵馬/妙見祭笠鉦のヒミツ/亀蛇の競演/むかしの道具）、和紙（和紙いろいろ/広重の絵封筒/和紙作りの道具/ペーパークラフト切組灯籠/様々な和紙の用途/様々な白い紙）、米作りの道具（通年）、写真家麦島勝の世界（集えば愉し/動物も家族/子どもは宝/どこにでも道はある）

### 第2常設展示室（松井文庫所蔵品常設展示）

- ・ 描かれた動物たち 6月5日（火）～7月16日（日）
- ・ 描かれた妖怪たち 7月18日（火）～9月2日（日）
- ・ 宸翰と古筆 優美なる書の世界 9月4日（火）～10月14日（日）
- ・ 屏風絵の世界 11月27日（火）～12月9日（日）

## ■講座・講演会活動

日時	内容	講師	参加者
4月22日（日）	春季展講演会「松井家の能」	松井葵之（松井文庫理事長・当館館長）	80人
4月28日（土）	春季展講演会「松井文庫の能面・能装束」	山崎撰（当館上席学芸員）	73人
5月13日（日）	能楽体験講座「触れてみよう！お能の魅力」	櫻間右陣師（金春流能楽師）	35人
5月19日（土）	博物館友の会特別講演会「中世の古麓はどんな街？」	青木勝士氏（熊本県立図書館学芸参事）	110人
6月23日（土）	夏季展監視ボランティア事前学習会	石原浩（当館学芸員）	16人
7月28日（土）	夏季展講演会「八代の禅宗寺院の歴史と文化」	石原浩（当館学芸員）	95人

8月25日(土)	子ども体験講座「宝ものをつくろう!～古代の鏡・お金づくり～」	当館学芸員	18人
9月29日(土)	歴史特別講演会「西南戦争と八代ー視点を変えれば見えてくる!ー」	三澤純氏(熊本大学文学部准教授)	102人
10月27日(土)	秋季展講演会「日本史における諫言の機能と役割～松井興長を中心に～」	稲葉継陽氏(熊本大学永青文庫研究センター教授)	151人
11月10日(土)	秋季展講演会「松井康之という生き方、松井興長という生き方」	林千寿(当館学芸員)	102人
12月1日(土)	第7回やつしろ連歌会(共催 博物館友の会・熊本県立図書館)		55人
通年(各月第3土曜・12回開催)	古文書講座 上級編	蓑田勝彦氏(八代古文書の会)	延べ147人
6～11月(全6回) ①6月9日(土) ②7月14日(土) ③8月11日(土) ④9月8日(土) ⑤10月13日(土) ⑥11月4日(日)	講座「熱血!妙見塾2」(共催 博物館友の会) ①「妙見祭の行事と出し物の特色について」 ②「神幸行列を考える」 ③「獅子舞徹底解剖」 ④「笠鉾大解剖1」 ⑤「笠鉾大解剖2」 ⑥「明治時代以降の妙見祭」	早瀬輝美(当館学芸員)	①32人 ②33人 ③32人 ④29人 ⑤27人 ⑥30人
1～3月(全6回) ①1月8日(火) ②1月29日(火) ③2月5日(火) ④2月19日(火) ⑤3月5日(火) ⑥3月19日(火)	学芸員講座「学芸員のこだわり八代学」(共催 市立図書館) ①「すごいぞ!西山宗因～八代が生んだ江戸時代の大スター」 ②「八代の禅寺～その歴史と寺宝～」 ③「神幸行列を考える～いつ、どのように始まったのか?～」 ④「松井文庫の美術工芸品が教えてくれること」 ⑤「八代の名物は肥後の名物!」 ⑥「江戸時代の八代」	①鳥津亮二(当館学芸係長) ②石原 浩(当館学芸員) ③早瀬輝美(当館学芸員) ④山崎撰(当館上席学芸員) ⑤宮原江梨(当館学芸員) ⑥林千寿(当館学芸員)	①74人 ②74人 ③62人 ④74人 ⑤63人 ⑥63人
その他	外部への講師派遣 計25回	当館学芸員	延べ1224人

## ■主な調査事業

### 松井文庫所蔵古文書調査事業(平成6年度～25年目)

- ・調書の作成と修理 平成30年6月18日(月)～6月22日(金) 224通  
調査指導 元 北九州市立いのちのたび博物館歴史課長 永尾正剛氏  
調査協力 川口恭子氏、熊本県立図書館、熊本市立熊本博物館、熊本大学永青文庫研究センター、北九州市立いのちのたび博物館、久留米市役所、八代市文化振興課など
- ・写真撮影 224通
- ・『調査報告書20』(平成31年度刊行予定)に収載する古文書98通の解読

## ■博物館施設整備事業

平成30年12月11日から平成31年3月31日にかけて、博物館外壁他改修工事(外壁及び鉄骨構造部材の塗装及び防水等)を実施。工事期間は臨時休館とする。

## ■入館状況 開館日数204日間

入館者総数 19,869人 (有料入館者5,857人/小中学生2,813人/無料入館者11,199人)